

# WorldCat Discovery リリースノート

リリース日：2017/6/15（日本標準時）

## 目次

はじめに .....	2
ハイライト.....	2
エラーレポートRequestID付与のお願い.....	2
<b>追加/強化機能 .....</b>	<b>3</b>
検索条件を保存可能になりました。 .....	3
アクションボタンを変更し、操作を単純にしました。 .....	5
新たな検索アルゴリズムが追加されました。 .....	5
個人リストの資料をより直感的に操作 .....	8
複数の「自分の個人リスト」、「My Items」から一括引用 .....	9
<b>新規コンテンツ .....</b>	<b>10</b>

# はじめに

当リリースノートは、2017年6月15日（日本標準時）に発行された、WorldCat Discoveryバージョンアップに関するご案内です。

## ハイライト

検索条件の保存が可能になり検索の繰り返しによる手間が省けるようになりました。新たな検索アルゴリズムが採用されました。個人リストからの引用とその管理が、より直感的にできるようになりました。

## エラーレポートRequest ID付記のお願い

WorldCat Discovery の不具合をご連絡頂くにあたっては、その内容と合わせて **Request ID** をお知らせ頂きますようお願い致します。Request ID とは、不具合が発生した WorldCat Discovery 画面の最下部に表示される文字列です。OCLC の技術者は、この情報を使ってレポートを受けた各不具合の内容を直接追跡することが可能となります。



# 追加/強化機能

検索条件を保存可能になりました。

経験豊かな研究者は、複雑なブール演算子やファセット、データベースの絞り込みを使い、専門分野の新刊を探ることがあります。複雑、もしくはシンプルな検索式を繰り返し入力しなくて済むよう、アカウント上に検索条件を保存できるようになりました。

WorldCat Discoveryのユーザーアカウント\*1をお持ちであれば、100件まで検索を保存、編集できます。

\*1 本機能が利用可能となるのは、WorldCat Discoveryの個人アカウントを持っているユーザー（WorldCat Discoveryスタッフアカウントをお持ちの図書館職員、またはWorldShare Management Services ユーザー\*2）です。

\*2 WorldShare Management Servicesは2017年6月現在、日本では未提供のサービスです。

**画面例** WorldCat Discoveryにログインすると、検索画面の「検索ツール」の下に、「この検索を保存」ボタンが表示されます。

The screenshot shows the WorldCat Discovery search interface. At the top, there is a search bar with the query "butterfly habitat in ohio NOT birds" and a search button. Below the search bar, there is a navigation bar with the Kinokuniya logo and a search button. The main content area is divided into two columns. The left column contains the "検索ツール" (Search Tools) section, which is highlighted with a green box. This section includes a "この検索を保存" (Save this search) button, a "検索範囲" (Search Scope) dropdown menu with options for "Libraries Worldwide" and "紀伊國屋大学", a "内容" (Content) dropdown menu with options for "フルテキスト" and "直読論文に限定 (149)", and a "フォーマット" (Format) dropdown menu with options for "上位6個のフォーマット" and "すべてのフォーマット". The right column displays search results, including a list of 201 items and a detailed view of a specific article titled "Habitat Use by the Federally Endangered Mitchell's Satyr Butterfly ( Neonympha mitchellii mitc". The article details include the author "B. J. BARTON, C. E. BACH", the year "2005", and the source "The American Midland Naturalist v153 n1 (01 2005): 41-51". There is also a button for "オンラインでアクセス" (Access online) and a link to "すべての版と形式を表示" (Show all editions and formats).

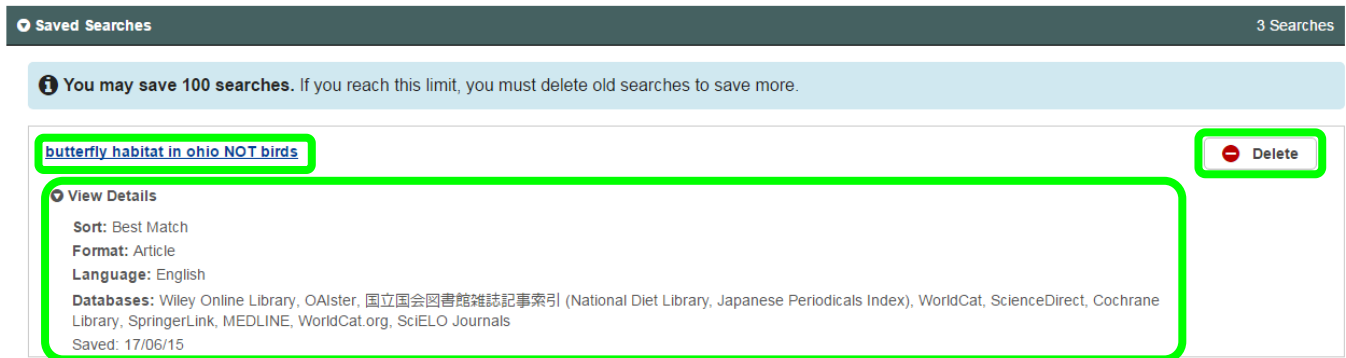
**画面例** 「この検索を保存」を押すと、検索条件の確認画面が現れ、「保存済みの検索内容を表示」を押すと、内容を確認することができます。



**画面例** ナビゲーションバーの「図書館リンク集」から、保存された検索条件を確認することができます。



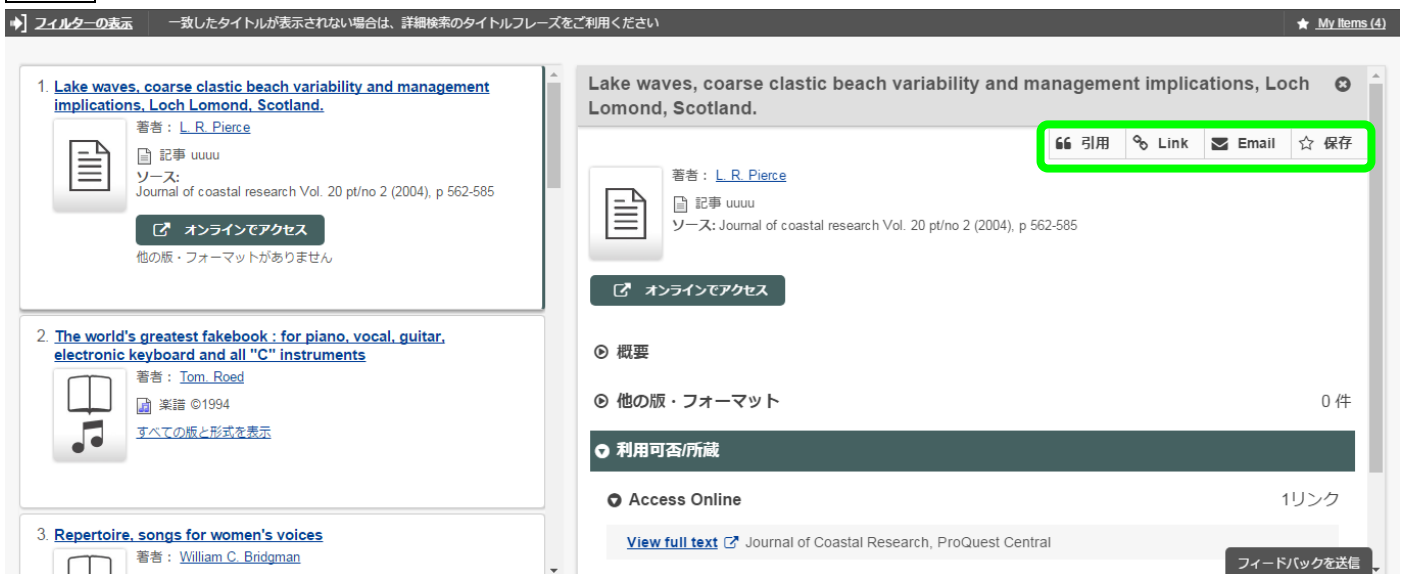
**画面例** 保存された検索の確認、再実行、削除が行えます。



アクションボタンを変更し、操作を単純にしました。

検索結果に対するアクションボタンの表示が、横向きになりました(以前は縦に表示していました)。また、検索結果詳細画面左側の一覧バーに表示されていたアクションボタンを削除しました。

**画面例** 検索結果詳細画面



新たな検索アルゴリズムが追加されました。

過去数か月、OCLCは内部チームに加えてパイロット館の協力を得て、検索アルゴリズムの厳密なテストを行ってきました。この結果、新たに「ベストマッチ(ベータ)」と「Recency」という2種類の関連度オプションを作成しました。

これまで「関連度のみ」と称していた「ベストマッチ(ベータ)」は、表示されるフィールドで良い一致が見られる既知アイテムがヒットするようになりました。「Recency」は、多くの学問分野でより関連度が高いと判断される、“より新しい資料”を検索結果として出します。以前の「自館所蔵と関連度」アルゴリズムは、「Library」と名称が変更され、引き続き自館所蔵を優先表示します。

この変更の背景となったテストの詳細については、今年5月の「[Product Insights](#)」のウェビナーと、最近の[Discovery Notes](#)をご覧ください。この変更は、[2016年8月](#)に新たな検索アルゴリズムがリリースされるとともに始まった、検索結果の精度を高める試みの一部です。

まとめ：

- 「関連度のみ」は、「ベストマッチ(ベータ)」に名称が変更されました。現状「関連度のみ」に設定している館は、自動的に「ベストマッチ(ベータ)」に移行されます。
- 「自館所蔵と関連度」は「Library」に置き換えられます。「Recency」は新規のオプションです。


#### 画面例 関連度オプションの選択肢




自館の関連度アルゴリズムを、管理者サイト「[OCLC Service Configuration](#)」のMy WorldCat.org -> Relevancy and Scoping->WorldCat Discovery default sort on search resultsから設定してください。WorldCat Localのデフォルトの並び順は、WorldCat Discoveryではサポートされません。

### WorldCat Local Default Sort on Search Results

You may define how search results are sorted by default when initially displayed. A user may change this seeing to view other sort options, but every time a search results is initially displayed, the default sort set here will always be selected.

\* **Default sort:**  

**Display the top 5 relevancy results in addition to the 'Library and Relevancy' results.**  

### WorldCat Discovery Default Sort on Search Results

You may define how search results are sorted by default when initially displayed. A user may change this seeing to view other sort options, but every time a search results is initially displayed, the default sort set here will always be selected.

\* **Default sort:**  Best Match (Viewing matched terms in title, author, and date)  
 Recency (Viewing matched terms in title, author, and date, emphasizing recent items)  
 Library (Viewing available to your library first, matching terms in title, author, date, and other record details.)  
 Author (A to Z) (Results sorted alphabetically by author)  
 Date (Newest) (Results sorted newest to oldest by publication year)  
 Date (Oldest) (Results sorted oldest to newest by publication year)  
 Most Widely Held (Results sorted highest to lowest by number of libraries that own the item worldwide)  
 Title (A to Z) (Results sorted alphabetically by title)

注：  
WorldCat Discoveryの関連度オプションは、WorldCat Discoveryでのみ設定可能であり、WorldCat Localではサポートされていません。

## 個人リストの資料をより直感的に操作

「My Items」に、わかりやすいボタンが設置され、より直感的に編集できるようになりました。

### 画面例 新しく設置されたボタン

The screenshot shows the top navigation bar of the Kinokuniya website. Below the search bar, there is a yellow warning box: "Delete your list of saved items before leaving a public computer. Records added to this list are stored temporarily. Your list will be visible to others until the session times out." Below this, a toolbar contains several buttons: "すべて選択", "電子メール", "Cite", and "削除". The "電子メール", "Cite", and "削除" buttons are highlighted with a green box. Below the toolbar, two book entries are listed, each with a "削除" button on the right. The first entry is "コーパスからわかる言語変化・変異と言語理論" and the second is "形態論と統語論の相互作用：日本語と朝鮮語の対照言語学的研究".

「My Items」ページの資料は、WorldCat Discoveryの画面を閉じるまで一時的に保存されます。スタッフアカウントまたはWorldShare Management Servicesのアカウントでログイン\*1して「自分の個人リスト」に入れると、半永久的に保存されます。ログインすると、新しいリストを作るか、既存のリストに追加するかを選択肢が表示されます。

\*1 p.3の注\*2参照。

### 画面例 新規リストの作成、または既存リストに追加を選択

The screenshot shows the "My Items (4)" page. It features the same yellow warning box as the previous screenshot. Below it, a new toolbar is visible, containing buttons for "すべて選択", "Create List (Staff Only)", "電子メール", "Cite", "Move", and "削除". The "Create List (Staff Only)", "電子メール", "Cite", "Move", and "削除" buttons are highlighted with a green box. The book entries below are identical to the previous screenshot.

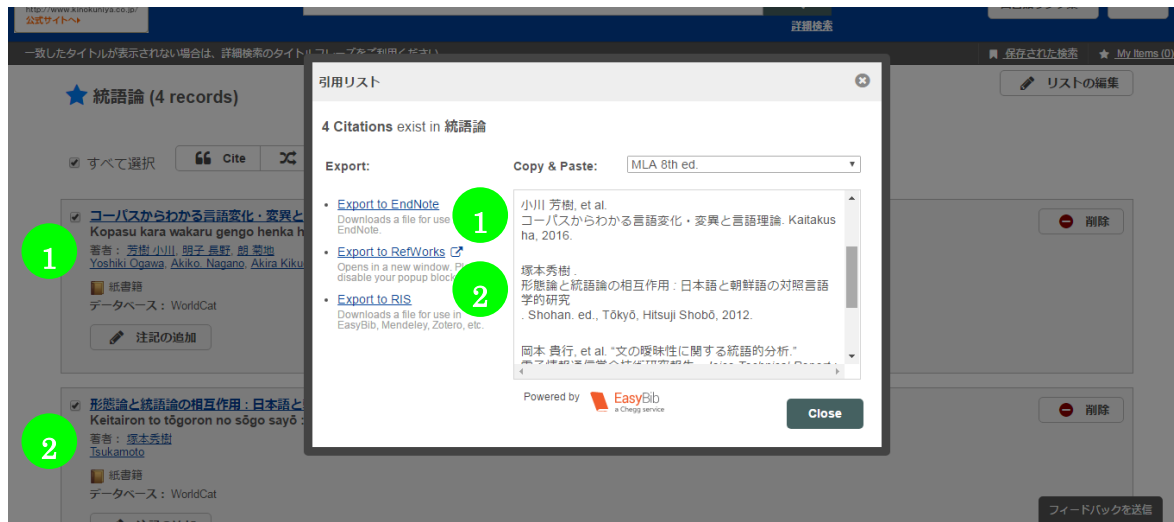


## 複数の「自分の個人リスト」、「My Items」から一括引用

スタッフアカウントでログインすると、「自分の個人リスト」ページもしくは「My Items」から、いくつかを選んで、またはリストにある全ての資料を、一度に引用することが可能になりました。なお、既存の引用システムに対して、リストまたは資料をエクスポートすることも可能です。

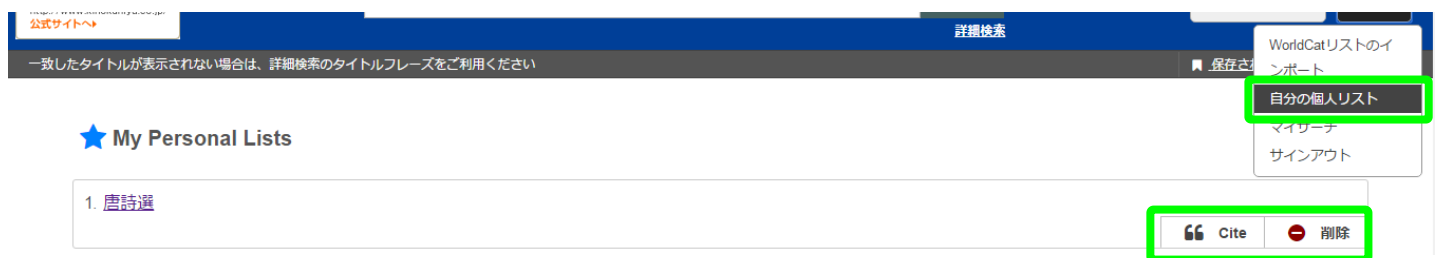
WorldCat Discoveryの画面から直接、複数の資料を選択して引用することができます。引用を選択すると、引用ダイアログが表示され、お好みの引用スタイルを選ぶことができます。

### 画面例 引用ダイアログ



「自分の個人リスト」ページでは、リスト全てのアイテムを引用、もしくは削除することができます。

### 画面例 「自分の個人リスト」ページ



## 新規追加コンテンツ

前回のリリースノート以降、OCLCのCentral Indexに搭載され、検索対象として設定可能となったコンテンツは以下のとおりです。

WorldCat Discovery, WorldCat Local, [WorldCat.org](https://www.worldcat.org)で検索対象となるコンテンツ

プロバイダー : JSTOR

- **JSTOR Sustainability Collection**

プロバイダー : McGraw-Hill Education

- **F.A. Davis PT Collection**

図書館は自館で契約しているデータベース等を、管理者サイト「[OCLC Service Configuration](#)」から随時WorldCat Discovery Servicesの検索対象コンテンツとして設定することが出来ます。

現在検索対象として設定可能なすべての電子コンテンツは、[こちらのExcelリスト](#) (331KB) にてご確認頂きます。